

S I R A外国につながる子どもサポーター

平成 23 年度 公開研修会

「東日本大震災と子どもたちを支えるための協働」

東日本大震災後、子どもたちの心の安定を図りこれまでの学習を安心して継続できるように支えることが課題となっています。

そこで今年度の外国につながる子どもサポーター公開研修会では、「東北こども支援プロジェクト」(*)による報告を通じて震災後の外国につながる子どもの実態を参加者と共有するとともに、今後の外国につながる子どもの支援のあり方を参加者とともに考えます。



1 月 15 日 (日) 13:30~16:30 (受付 13:00~)

仙台国際センター 3F 中会議室「白檀^{しらかし}」

参加無料 (要事前申込) どなたでもご参加いただけます。

共催： 東北こども支援プロジェクト、仙台市教育委員会、(財)仙台国際交流協会

*「東北こども支援プロジェクト」は、東日本大地震で被災した外国につながる子どもの心のサポートとことばの学習を支え、同時に支援ネットワークの構築をめざすプロジェクトとして外国につながる子どもの学習支援を行う研究者と実践者によって立ち上げられました。

内容

○講演：「外国につながる子どもはいま——『東北こども支援プロジェクト』報告——」

川上 郁雄（早稲田大学大学院日本語教育研究科 教授）

市民や研究者が協働で実施する『東北こども支援プロジェクト』について中間報告を行うとともに、今後の宮城県や仙台市における外国につながる子どもの支援に必要な協働のあり方についてご提言いただきます。

○パネルトーク：「外国につながる子どもを支えるための市民と学校の協働」

パネリスト： 齊藤 睦（SIRA外国につながる子どもサポーター、指導協力ボランティア）
黒須 功太郎（仙台市教育局学校教育部教育指導課 指導主事）
早坂 保文（仙台市立八幡小学校 校長）
佐藤 剛（仙台国際交流協会企画事業課 課長）
コメンテーター： 川上 郁雄（早稲田大学大学院日本語教育研究科 教授）
コーディネーター： 菊池 哲佳（仙台国際交流協会企画事業課 主事）

外国につながる子どもを支える市民や関係者らとともに今後の外国につながる子どもを支えるための市民と学校の協働について考えます。

○参加者のミニ交流会

○「外国につながる子ども」という表現について

仙台市には国籍や民族の異なるさまざまな人々が暮らしています。そのなかには、日本国籍を有しながらも日本語での学習が困難な子どもの存在など、「外国籍～」という表現だけではくれない、多民族・多文化な背景をもつ子どもたちの存在があります。子どもたちは、日本語や教科学習支援などのサポートや、母語・母文化喪失に対するケアなど様々なサポートを必要としています。

SIRA外国につながる子どもサポーター公開研修会申込書

氏名	
住所	〒
電話	
Email	
職業（または学校）	

（本申込書に記入された個人情報の利用目的について）

（財）仙台国際交流協会では、本申込書に記入された個人情報を当研修会の手配・実施等に必要な事務連絡・調整のためにのみ使用します。法令に基づく場合などを除き、申込者の個人情報を本人の同意を得ることなく第三者に提供することや、開示することはありません。

【お申込み・お問い合わせ】申込書にご記入の上、ファクス、Eメール、郵送にて下記までお送りください。

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地センター内（財）仙台国際交流協会 企画事業課 菊池

電話：(022) 265-2480 FAX：(022) 265-2485 E-mail：a-kikuchi@sira.or.jp